



## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場会社名	株式会社カプコン	上場取引所	東証一部・大証一部
コード番号	9697	URL	<a href="http://www.capcom.co.jp/">http://www.capcom.co.jp/</a>
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)辻本春弘	
問合せ先責任者	(役職名)取締役常務執行役員	(氏名)阿部和彦	TEL (06)6920-3605
四半期報告書提出予定日	平成22年2月5日	配当支払開始予定日	

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	49,987	5.9	4,817	84.3	4,795	127.5	1,731	865.9
21年3月期第3四半期	47,223		2,613		2,107		179	

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第3四半期	28	32	28	25
21年3月期第3四半期	2	92	2	73

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年3月期第3四半期	86,419		56,023		64.8	924	64	
21年3月期	106,210		59,349		55.9	961	38	

(参考) 自己資本                      22年3月期第3四半期                      56,023百万円                      21年3月期                      59,349百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期			20	00			15	00	35	00
22年3月期			15	00					35	00
22年3月期(予想)							20	00		

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

21年3月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭 普通配当 15円00銭

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	65,000	29.3	6,000	59.0	5,000	63.8	2,000	75.2	32	94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
会計基準等の改正に伴う変更 : 無  
以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                    |             |             |  |             |
|--------------------|-------------|-------------|--|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む)  |             |             |  |             |
| 22年3月期第3四半期        | 67,723,244株 | 21年3月期      |  | 67,394,568株 |
| 期末自己株式数            |             |             |  |             |
| 22年3月期第3四半期        | 7,133,522株  | 21年3月期      |  | 5,660,792株  |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) |             |             |  |             |
| 22年3月期第3四半期        | 61,152,306株 | 21年3月期第3四半期 |  | 61,505,497株 |

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
- ・予想1株当たり当期純利益の算出に際しましては、発表日現在において合理的に算出可能な予想期中平均株式数(通期:60,707千株)を使用しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な株価や円高基調の一服感がありましたが、個人消費や設備投資が低水準で推移したことに加え、賃金抑制などのデフレ圧力により景気は回復軌道に乗っていませんでした。

当業界におきましては、家庭用ゲーム市場はゲーム機の値下げが相次いだこともあって、活況の兆しはありましたものの、消費マインドの萎縮や需要減退など長引く不況も手伝って、踊り場状態が続きました。

また、アミューズメント施設市場は「ゲームの日」（毎年11月23日）における全国的なイベント開催やファン感謝デーの実施など、業界を挙げて活性化策を行ってまいりましたが、家庭用ゲームとの垣根が低くなったことに加え、顧客誘引商品の不足や新型インフルエンザの影響などにより低迷状態から脱却できませんでした。

こうした状況下、当社は市場ニーズに適合したソフト開発、全国的な販促キャンペーンやワンコンテンツ・マルチコース展開を推し進めるとともに、経営環境の変化に対応した事業戦略や不採算部門の再構築に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間は主力部門であるコンシューマ用ゲームソフト事業において、有力ソフトの投入が少なかったことに加え、アミューズメント施設運営事業やコンテンツエキスパンション事業が苦戦を強いられたため、総じて弱含みに展開しましたが、第2四半期連結累計期間の下支えもあって売上高は499億87百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は48億17百万円（前年同期比84.3%増）、経常利益47億95百万円（前年同期比127.5%増）となりました。また、遊技機向け関連機器事業に係る開発体制等の見直しにより事業再構築費用が発生したことに伴い、特別損失の増大を余儀なくされました。

一方、移転価格税制に関する日米税務当局の合意により過年度法人税等を計上したため、四半期純利益は17億31百万円（前年同期比865.9%増）となりました。

## 事業の種類別セグメントの状況

## コンシューマ用ゲームソフト事業

当事業におきましては、第3四半期連結会計期間は「ロックマン エグゼ オペレート シューティングスター」（ニンテンドーDS用）や再廉価版ソフト「モンスターハンターポータブル 2nd G PSP the Best」（プレイステーション・ポータブル用）が定着したブランド力により底堅い売行きを示しましたが、「バイオハザード/ダークサイド・クロニクルズ」（Wii用）や「大神」（Wii用）は軟調に推移いたしました。

一方、第2四半期連結累計期間は主力ソフト「モンスターハンター3（トライ）」（Wii用）が順調に販売を伸ばしたほか、「逆転検事」（ニンテンドーDS用）も健闘しました。

また、過年度に大ヒットを放った「バイオハザード5」（プレイステーション3、Xbox 360用）も根強い人気に支えられ続伸いたしました。

加えて、「歴女（歴史好きな女性）」ブームの火付け役となり、戦国ブームを巻き起こしたシリーズ最新作「戦国BASARAバトルヒーローズ」（プレイステーション・ポータブル用）が手堅く伸長するとともに、ゲームキャラクターが宮城県知事選の投票啓発用ポスターに採用されるなど、ゲーム以外にも世間の注目を浴びました。

この結果、売上高は第2四半期連結累計期間の押し上げもあって334億26百万円（前年同期比25.2%増）、営業利益69億94百万円（前年同期比58.8%増）となりました。

## アミューズメント施設運営事業

当事業におきましては、市況軟化のもと身近な娯楽施設として各種イベントの開催、サービスの実施や快適な空間作りなどによりコアユーザーの確保や女性、ファミリー層の取り込みに注力してまいりましたが、消費低迷や外出を控える「巣ごもり消費」の影響などにより、足踏み状態が続きました。

他方、店舗運営コストの削減など収益構造の見直しにより採算性の向上に努めてまいりました。

この結果、売上高は89億35百万円（前年同期比11.0%減）となりましたが、営業利益は収益改善策が功を奏し4億48百万円（前年同期比295.9%増）となりました。

## 業務用機器販売事業

当事業におきましては、閉塞感が漂う中メダルゲーム「マリオパーティ ふしぎのコロコロキャッチャー」の投入等により、既存顧客の深耕や新規開拓に努めるとともに、局面打開を図る一環として株式会社バンダイナムコゲームスと業務提携を行うなど、販売拡大に向けて全力を傾注してまいりましたが、リピート商品主体の営業展開となりましたため、苦戦を免れませんでした。

この結果、売上高は20億12百万円（前年同期比58.5%減）となり、営業損失63百万円（前年同期は3億81百万円の営業利益）と不本意な業績となりました。

#### コンテンツエキスパンション事業

当事業におきましては、携帯電話向けコンテンツ配信事業は「逆転裁判4」が堅調に推移したほか、iPhone/ iPod・タッチ向け「魔界村騎士列伝」や「逆転裁判 - 蘇る逆転 - 」も新規ユーザーを獲得するなど、おおむね計画どおり推移いたしました。

他方、遊技機向け関連機器事業については、厳しい事業環境や目玉商品の不在により苦況が続きました。

この結果、売上高は33億85百万円（前年同期比10.9%減）、営業損失2億99百万円（前年同期は1億88百万円の営業利益）となりました。

#### その他事業

その他事業につきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は22億27百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益8億97百万円（前年同期比41.7%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ197億91百万円減少し864億19百万円となりました。主な増加は、現金及び預金27億16百万円およびゲームソフト仕掛品36億17百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金237億76百万円、仕掛品14億49百万円および原材料及び貯蔵品11億2百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ164億65百万円減少し303億96百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金60億3百万円、短期借入金の一部返済50億55百万円、未払法人税等14億66百万円および賞与引当金10億11百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ33億26百万円減少し560億23百万円となりました。主な増加は、四半期純利益17億31百万円であり、主な減少は、剰余金の配当18億31百万円、自己株式の取得27億4百万円および為替換算調整勘定（海外連結子会社等の純資産の為替換算に係るもの）の変動9億22百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年12月22日に修正を行っております。詳細については、平成21年12月22日発表の「平成22年3月期通期業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

##### 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

当社の法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに業績変動を加味して判断する方法によっております。

連結子会社の税金費用に関しては、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,328	28,611
受取手形及び売掛金	4,117	27,894
商品及び製品	1,387	1,746
仕掛品	647	2,097
原材料及び貯蔵品	1,642	2,745
ゲームソフト仕掛品	14,050	10,432
その他	7,437	5,661
貸倒引当金	241	383
流動資産合計	60,370	78,806
固定資産		
有形固定資産	14,342	15,217
無形固定資産		
のれん	234	419
その他	3,069	3,154
無形固定資産合計	3,303	3,574
投資その他の資産		
その他	9,432	9,654
貸倒引当金	1,029	1,042
投資その他の資産合計	8,402	8,612
固定資産合計	26,048	27,404
資産合計	86,419	106,210
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,678	9,682
短期借入金	10,711	15,766
1年内償還予定の新株予約権付社債	-	400
未払法人税等	456	1,923
賞与引当金	1,080	2,091
返品調整引当金	235	313
その他	6,471	8,238
流動負債合計	22,633	38,415
固定負債		
長期借入金	4,603	5,067
退職給付引当金	1,337	1,171
役員退職慰労引当金	-	406
その他	1,820	1,800
固定負債合計	7,762	8,445
負債合計	30,396	46,861

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,239	33,039
資本剰余金	21,328	21,129
利益剰余金	16,900	17,000
自己株式	10,720	8,015
株主資本合計	60,748	63,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	12
為替換算調整勘定	4,712	3,790
評価・換算差額等合計	4,725	3,803
純資産合計	56,023	59,349
負債純資産合計	86,419	106,210

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	47,223	49,987
売上原価	31,329	30,655
売上総利益	15,894	19,332
返品調整引当金戻入額	110	77
差引売上総利益	16,004	19,409
販売費及び一般管理費	13,391	14,592
営業利益	2,613	4,817
営業外収益		
受取利息	672	253
受取配当金	21	19
その他	98	146
営業外収益合計	791	419
営業外費用		
支払利息	61	124
貸倒引当金繰入額	178	2
持分法による投資損失	4	-
支払手数料	-	108
為替差損	939	40
店舗閉鎖損失	-	125
その他	113	38
営業外費用合計	1,297	441
経常利益	2,107	4,795
特別利益		
貸倒引当金戻入額	67	29
償却債権取立益	58	-
特別利益合計	126	29
特別損失		
固定資産除売却損	30	74
訴訟関連損失	131	-
減損損失	1,146	166
事業再編損	-	4,092
その他	203	-
特別損失合計	1,512	4,333
税金等調整前四半期純利益	721	491
法人税、住民税及び事業税	175	1,041
過年度法人税等	-	1,763
法人税等調整額	367	518
法人税等合計	542	1,240
四半期純利益	179	1,731

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	721	491
減価償却費	3,016	2,447
減損損失	1,146	166
のれん償却額	364	183
貸倒引当金の増減額(は減少)	255	152
受取利息及び受取配当金	693	273
支払利息	61	124
為替差損益(は益)	934	113
持分法による投資損益(は益)	4	-
固定資産除売却損益(は益)	30	74
訴訟関連損失	131	-
事業再編損失	-	4,092
売上債権の増減額(は増加)	6,801	23,310
たな卸資産の増減額(は増加)	2,224	299
ゲームソフト仕掛品の増減額(は増加)	6,376	5,288
仕入債務の増減額(は減少)	2,520	5,840
その他の流動負債の増減額(は減少)	825	1,563
その他	1,529	943
小計	1,211	17,241
利息及び配当金の受取額	718	273
利息の支払額	64	124
訴訟関連損失の支払額	131	-
法人税等の支払額	950	2,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,640	14,845
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,006	1,213
有形固定資産の売却による収入	33	0
無形固定資産の取得による支出	842	250
投資有価証券の売却による収入	4	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	18	-
その他	325	351
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,503	1,111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	6	5,055
長期借入れによる収入	1,400	-
長期借入金の返済による支出	1,867	463
自己株式の取得による支出	142	2,704
自己株式の売却による収入	1	0
配当金の支払額	2,149	1,832
その他	215	367
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,979	10,423



(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,158	643
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	9,282	2,666
現金及び現金同等物の期首残高	32,763	28,611
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	302	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,783	31,278

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエクスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	26,709	10,039	4,841	3,801	1,832	47,223		47,223
(2) セグメント間の内部売上高または振替高			7			7	(7)	
計	26,709	10,039	4,848	3,801	1,832	47,230	(7)	47,223
営業利益	4,404	113	381	188	633	5,720	(3,107)	2,613

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエクスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	33,426	8,935	2,012	3,385	2,227	49,987		49,987
(2) セグメント間の内部売上高または振替高							( )	
計	33,426	8,935	2,012	3,385	2,227	49,987	( )	49,987
営業利益または 営業損失( )	6,994	448	63	299	897	7,977	(3,160)	4,817

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	37,149	5,471	3,955	646	47,223		47,223
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	1,738	1,361		25	3,124	(3,124)	
計	38,887	6,833	3,955	671	50,348	(3,124)	47,223
営業利益または 営業損失( )	6,379	837	111	48	5,702	(3,088)	2,613

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	36,574	7,472	5,315	625	49,987		49,987
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	4,183	832	70	36	5,122	(5,122)	
計	40,758	8,304	5,386	661	55,110	(5,122)	49,987
営業利益または 営業損失( )	9,095	1,191	67	112	7,949	(3,131)	4,817

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	5,858	3,713	1,212	10,784
連結売上高(百万円)				47,223
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.4	7.9	2.6	22.8

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	7,740	4,728	1,610	14,078
連結売上高(百万円)				49,987
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.5	9.5	3.2	28.2

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成21年7月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、実施いたしました。それにより、平成21年8月1日から平成21年8月31日までに1,471千株、2,703百万円の自己株式を取得いたしました。